



エスロハイパー NEWS

東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

エスロハイパー現場レポート35 「仮設住宅への仮設配水管敷設工事」

釜石市鶴住居町の仮設住宅への仮設配水管として、配水用ポリエチレン管「エスロハイパーJW150」が採用されているが、融着接合による一体管路形成や柔軟性を活かした生曲げなどの特徴を御評価戴き、平田地区の仮設住宅への仮設配水管敷設にも「エスロハイパーJW100」が採用されました。

施工概要

5月連休、及び6月上旬に布設した鶴住居町仮設住宅への仮設配管に引き続き、平田地区にも1サイズ小口径の「エスロハイパーJW100」が採用され当社も施行に協力。

施工は既設铸铁管から分岐して仕切弁を介してエスロハイパーJW100を接続、地上に立ち上げて国道45号線を潜り抜け、階段脇の斜面を登り、国道45号線歩道端に露出配管で1km強の配管を6月21日から日曜日を除いて4日間で敷設。但し、23日は昼過ぎで作業切り上げ。

国道沿いの配管では、EFコントローラと発電機を各2台、軽トラックに積み、管端切削1名、管挿入・クランプ2名、融着1名、クランプ解除・管固定1名の計5名で475m/日で敷設。



陸付けでバンドとフランジ短管を接続



側溝を下越して道路脇に立ち上げ、露出配管で国道下トンネルに沿って横断





階段脇の手摺に沿って斜面を露出配管、



国道45号線歩道端布設ではEFコントローラ2台を軽トラックに積んで移動しながら、2箇所毎4分間隔で融着(通電は3分)



国道45号線脇に露出配管敷設



国道45号線法面を生曲げで下の道路に配管

仮設住宅前の道路U字側溝を下越して配管

5月、6月敷設の鶴住居町仮設住宅には入居が始まり、更に着工中の平田地区仮設住宅への配水管敷設にも微力ながらお役に立てたのではないかと考えます。
積水化学は今後も被災地復興のため、震災復旧支援に全力で取り組んで参ります。